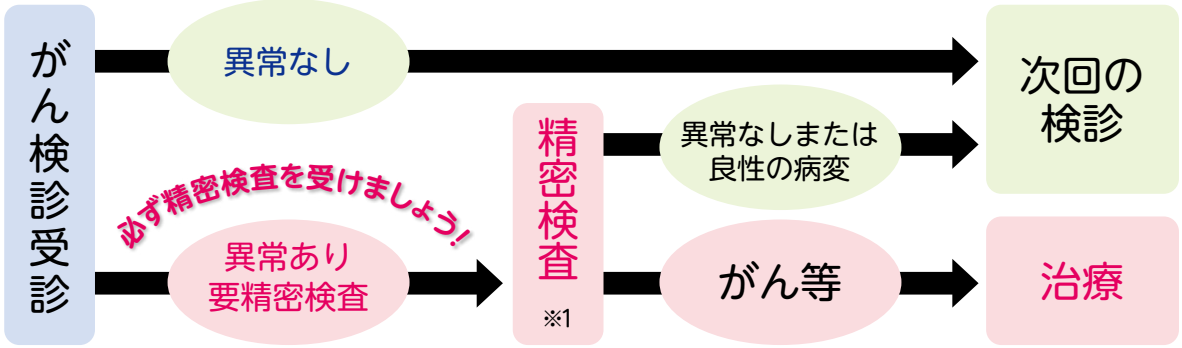
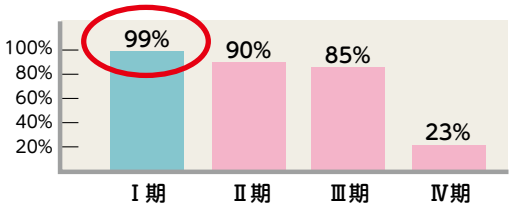
がん等の検診

がん治療中、経過観察中、精査中の方は、診察を受けている部位のがん検診の対象者ではありません

がん検診は自覚症状がないがんを早期に発見し治療に結びつけるための検査です。
「がんがありそう（異常あり）」「がんがなさそう（異常なし）」をまず調べ、ありそうな人に精密検査を行います。



※１ 精密検査結果は精密検査実施医療機関・検診実施機関・沼津医師会・沼津市で把握させていただきます。



出典：全国がんセンター協議会の生存率共同調査（2023年9月集計）による

大腸がん検診の５年生存率

早期発見・治療で99%治ります。

大腸がん検診の精密検査は全大腸内視鏡検査（大腸カメラ）です。結果が届いたら、早めに精密検査を受けましょう。

メリット

●早期のがんを発見でき、死亡率を減らすことができます。

●早期発見すれば、がんは90%以上が治ります。

（ここでいう「治る」とは全がんを対象とした診断時からの５年（相対）生存率です。）資料：がん統計 2019全国がんセンター協議会加盟施設における５年（相対）生存率

●がん以外の病気も発見でき、治療に結びつけられます。

ポリープや潰瘍、異型細胞等、がんになる前の病変で見つかることもあります。経過を観察して必要に応じて治療することで、がんになることを防ぐことができます。

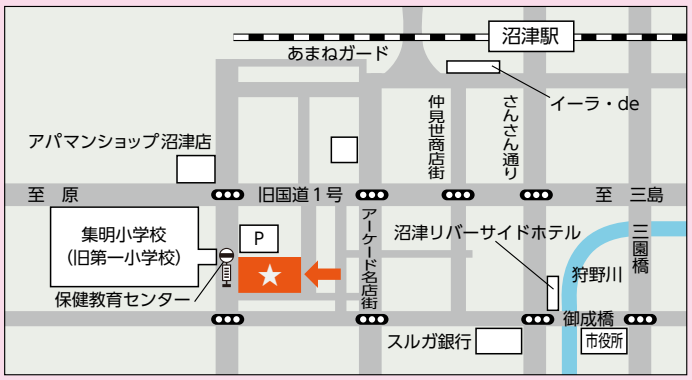
デメリット

●がん検診の判定・診断の結果が100%正しいというわけではありません。

精度管理に努めていますが、がんの場所や種類によって発見しづらいことがあります。また、がんがなくても要精密検査と診断される場合もあります。

●検査によって身体に負担がかかってしまうことがあります。

バリウム検査による便秘や内視鏡による出血や穿孔（胃や腸に穴を開けてしまうこと）、放射線による被曝の問題があります。



沼津市保健センター（健康づくり課）

お問い合わせ　平日　8：30～17：15

〒410-0881　沼津市八幡町97番地

TEL　055－951－3480
　　055－951－2460

FAX　055－951－5444

e-mail　kenkou@city.numazu.lg.jp